

2020 年 度
事 業 報 告 書

一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会

2020 年度事業報告書

2020 年度を振り返れば、わが国のみならず世界の社会経済が新型コロナウイルスに翻弄された 1 年でした。人の流れが止まり、すべての経済が大きな打撃を受けていることは現在も人々の心に重くのしかかっています。

日本の鉄鋼業を見ても、2020 年度の粗鋼生産は 8,300 万トンまで落ち込みましたが、この数字は半世紀前の 1969 年とほぼ同じレベルです。特に、高炉メーカーの危機感は強く、製鉄所の閉鎖や高炉の休止を相次いで発表していますので、将来的にも粗鋼生産が 1 億トンに戻るのには難しいと判断されます。

我々、鉄リサイクル業界もコロナの影響を強く受けています。解体工事の遅延、工業生産の落ち込みが鉄スクラップ母材の発生を停滞させ、流通量の減少に直面しました。また、緊急事態宣言が発出された 4 月頃には、鉄スクラップ価格が急落し、会員各社の収益の悪化が懸念されました。その後、年末にかけて価格は急回復しましたので、量の回復は遅れているものの収益面での心配は若干薄らいでいるかも知れません。

当工業会の活動も、コロナ禍という特殊な状況の中で、これまでとは違ったものとなりました。まず、対面での集会が難しくなった影響で、本部、支部を問わず委員会、例会の開催が出来なくなり、6 月に青森で開催を予定していた東北支部主管の全国大会も 2 年延期する事態となりました。さらに、会員のコスト削減の一助とすべく下期会費を徴収しない決定をしたのも工業会始まって以来のことでした。

一方で、不自由な状況の中において、新たな試みも為されました。工業会活動では経験の無かった On-line による会議も定着し、また種々情報発信も会員にひろく利用されています。会長の年頭の辞も、初めて On-line で発信しました。

具体的な事業活動につきましては、次章以降を御参照頂きますが、報告書の締めくくりとして会員各位の活動に対する御協力に対し改めて御礼を申し上げます。

II 事業概要

<主要取り組み事業>

1. 鉄リサイクル業を通じた資源循環社会の推進及び地球環境保全に貢献する事業

【公益事業】

(1) 自動車リサイクル法等の運用に係る事業 <自リ法委員会>

- ① 自リ法の運用状況把握及び関係省庁・機関との協議（マテリアルリサイクル等）
- ② 経産省、環境省の審議会への委員の派遣及び参加による意見発信
- ③ ASRの差配状況、再生化資源施設の受入れ状況の調査及び実態把握
- ④ シュレッダー母材の輸出を含めた流通状況の調査及び実態把握
- ⑤ エアバック作動事故防止及び廃発炎筒回収に関する会員への周知

(2) 適正な鉄スクラップ回収処理に資する対応

金属リサイクル伝票の実態把握及び発行・運用管理 <業務対策委員会>

(3) 国際化対応の一環としての事業 <国際ネットワーク委員会>

- ① 「国際鉄リサイクルフォーラム」を原則毎年開催。韓国、中国、EU、北米の情報収集、議論により会員に情報提供。
- ② 海外関係機関主催の国際会議参加等による海外の鉄リサイクル関連情報収集及び日本の優れた鉄リサイクルシステムの紹介による日本の鉄スクラップ業界のプレゼンスの向上。
(海外関係機関: 中国廃鋼鉄応用協会(CAMU)、韓国鉄鋼協会(KOSA)、韓国鉄鋼資源協会(KOSIA)、ISRI (Institute of Scrap Recycling Industries)、BIR (Bureau of International Recycling)等)。
- ③ 韓国鉄鋼資源協会(KOSIA)との覚書に基づいた日韓鉄スクラップ業界の情報交換及び相互交流の推進。

(4) 内外鉄スクラップ需給関連の調査・収集事業

- ① 国内需給や輸出動向を毎月取りまとめ(FAX通信)・公表 <事務局等>
- ② 日本鉄源協会の各種調査事業への協力、需給流通委員会への委員派遣

2. 環境、労働安全等に係る講習会、講演会の開催 【公益事業】

(1) 労働安全衛生講習会(動画配信により開催) <業務対策委員会>

3. 鉄リサイクル業に関する各種普及、啓発事業 【公益事業】

- (1) 鉄鋼業界紙等による幹部インタビュー、意見発信 <広報委員会>
- (2) 動画「2021年 会長 年頭挨拶」の製作、配信 <広報委員会>

4. 会員の業の経営、業務基盤等の維持・強化に資する業界重点事業 【共益事業】

(1) 廃掃法・バーゼル法の改正及び雑品スクラップ規制強化に係る事業

両法改正の詳細ルールである政省令、ガイドラインを都度会員に周知

<港湾委員会>

(2) その他の施策

- ①労働安全衛生活動支援(労働安全情報提供) <業務対策委員会>
- ②労働災害事故事例の調査収集と情報共有 <業務対策委員会>
- ③危険体験学習会(新日鐵住金・鹿島製鉄所<10月>) <業務対策委員会>
- ④労働安全ポスター及び過積載防止ポスターの作成、配布 <業務対策委員会>
- ⑤韓国鉄鋼資源協会との交流、情報交換の推進、他 <国際ネットワーク委員会>
- ⑥リサイクルポート施策に係る事業 <港湾委員会>
鉄スクラップ輸出の向け先遠方化による大型船化対応港湾インフラ整備に関し、国
交省主管の「リサイクルポート推進協議会」及び「国際資源循環部会」参加し意見
具申(2021年3月31日には石狩湾新港・東地区大型プロジェクトが正式採択)
- ⑦当工業会、官公庁からの周知事項等各種情報を発信、HP掲載 <広報委員会>
- ⑧災害団体保険事業の実施 <業務対策委員会>

<総会、理事会及び委員会活動>

1. 第45回通常総会(2020年6月16日 於: 鉄鋼会館)

第1号議案 議事録署名人選任の件

第2号議案 2019年度事業報告書(案)承認の件

第3号議案 2019年度決算報告書(案)承認の件

第4号議案 2019年度公益目的支出計画実施報告の件

第5号議案 2020年度事業計画書報告の件

第6号議案 2020年度予算書報告の件

第7号議案 役員選任の件

第8号議案 2020年度会費の減免の件

第9号議案 議事事項について、その趣旨に反しない範囲において字句の修正を会
長に委任の件

2. 理事会(4回)

◆第160回理事会(2020年5月22日) 【Web開催】

(1)2019年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)について

(2)内閣府への公益目的支出計画実施報告書の提出について

(3)2020年度予算書修正案について

(4)役員の交代について

(5)委員の交代について

(6)規定の改定について

(7)日本鉄源協会への出資金についての説明

(8)工業会会費の減免について

(9) 報告事項

- ①代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
- ②第 161 回理事会(6 月 16 日開催)の審議事項案について

◆第 161 回理事会(2020 年 6 月 16 日)【書面開催】

- (1)会長、副会長、専務理事の選定の件
- (2)顧問候補者の推薦の件
- (3)委員長候補者の同意の件
- (4)委員会委員の承認の件

◆臨時理事会(2020 年 10 月 19 日)【Web 開催】

- (1)日本鉄源協会への出資金の取り扱いについて
- (2)報告事項
 - ①2021 年新年賀詞交歓会の開催について
 - ②2021 年の全国大会の開催方針について
 - ③その他

◆第 162 回理事会(2020 年 11 月 19 日)【Web 開催】

- (1)2020 年度中間決算について
- (2)委員の交代について
- (3)報告事項
 - ①日本鉄源協会への出資金の取扱い—その後の進捗状況—
 - ②第 32 回全国大会(九州支部主管)の準備状況について
 - ③代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告

◆第 163 回理事会(2021 年 3 月 26 日)【Web 開催】

- (1)2021 年度事業計画書(案)及び予算書(案)の承認
- (2)委員の交代の件
- (3)報告事項
 - ①日本鉄源協会への出資金の取り扱い
 - ②代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
 - ③その他

3. 運営委員会

<委員会開催>(4 回)

◆2020 年度第 1 回運営委員会(2020 年 5 月 18 日)【Web 開催】

- (1)2019 年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)について
- (2)内閣府への公益目的支出計画実施報告書の提出について
- (3)2020 年度予算書修正案について
- (4)役員交代について
- (5)理事・監事候補者の推薦について
- (6)委員の交代について

- (7) 規定の改定について
- (8) 感謝状贈呈候補者について
- (9) 第 161 回理事会審議案
- (10) その他
 - ① 日本鉄源協会への出資金についての説明
 - ② 工業会会費の減免について

◆2020 年度臨時運営委員会(2020 年 10 月 9 日) 【Web 開催】

- (1) 2021 年新年賀詞交歓会の開催について
- (2) 日本鉄源協会への出資金の取り扱いについて
- (3) 2021 年全国大会(於:熊本)の方針説明
- (4) その他

◆2020 年度第 2 回運営委員会(2020 年 11 月 12 日) 【Web 開催】

- (1) 2020 年度中間決算(案)について
- (2) 委員の交代について
- (3) 報告事項
 - ① 日本鉄源協会への出資金の取扱い—その後の進捗状況—
 - ② 第 32 回全国大会(九州支部主管)の準備状況について
 - ③ 各支部及び各委員会の活動状況について
 - ④ その他

◆2020 年度第 3 回運営委員会(2021 年 3 月 17 日) 【Web 開催】

- (1) 2021 年度事業計画書(案)及び収支予算(案)について
- (2) 委員交代について
- (3) 品質向上委員会の創設に向けた対応方針について
- (4) 報告事項
 - ① 日本鉄源協会への出資金の対応について
 - ② 環境委員会の調査事業について
 - ③ 人事関係について
 - ④ 各委員会及び各支部の活動報告

<委員会活動・事業>

運営委員会は他の委員会の総括委員会に位置付けられており、当工業会の運営等全般に関する諸案件について対応。

- (1) 工業会の事業計画、事業報告及び予決算に係る事項の検討
- (2) 工業会の基本方針、コンプライアンスに係る事項の検討
- (3) 各支部、委員会活動の調整、支援に係る事項の検討
- (4) 関係省庁、関係団体との折衝、連携に係る事項の検討

4. 財務委員会

＜委員会開催＞(3回)

◆2020年度第1回財務委員会(2109年4月27日)【Web開催】

- (1)2019年度決算(案)について
- (2)2020年度予算(案)予算の修正について
- (3)その他

◆2020年度第2回財務委員会(2020年11月6日)【Web開催】

- (1)2020年度中間決算(案)について
- (2)2020年度下期会費を徴収しないことの影響
- (3)その他

◆2020年度第3回財務委員会(2021年3月11日)【Web開催】

- (1)2021年度財務委員会の事業計画・予算(案)について
- (2)2021年度予算(案)について
- (3)その他

＜委員会活動・事業＞

- (1)支部、部会を含めた工業会全体の財務状況把握、在り方の検討。
- (2)一般社団法人としての会計基準に基づく適正な予決算の実施。

5. 商社流通委員会

＜委員会開催＞

特段、開催が求められる緊急案件等は発生せず、また新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、今年度は委員会を開催せず。

＜委員会活動・事業＞

鉄スクラップの国内流通や輸出に係る全般的な情報を収集・発信することによる工業会活動支援。国内流通に係る諸問題(鉄スクラップ品質向上等)に関し協議し、会員へ発信することによる工業会活動支援。

6. 業務対策委員会

＜委員会開催＞(2回)

◆2020年度第1回業務対策委員会(2019年7月28日)【中止】

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて会議開催を中止とし、委員長が2020年度事業の具体的取組み方針を策定。必要に応じて事業の見直しを行うことを説明した。

- ①労働安全衛生講習会の開催について
- ②危険体験学習会の開催について
- ③労働災害・事件事例調査の実施について

- ④安全ポスターの作成について
- ⑤その他事業(過積載ポスターの作成等)

◆2020年度第2回業務対策委員会(2020年10月30日)【書面開催】

- (1) 2021年版安全ポスター図案の選定について
- (2) 2021年版過積載ポスター図案の選定について

◆2020年度第3回業務対策委員会(2021年1月29日)【Web開催】

- (1) 団体保険(施設賠償、労働災害総合、VIP)の契約更新について
- (2) 2021年度事業計画(案)及び予算(案)について
- (3) 2020年度労働災害・事故事例調査の結果(概要)について
- (4) 労働安全衛生講習会の開催について
- (5) 危険体験学習会(鹿島)の開催報告について<委員会活動・事業>

<委員会活動・事業>

(1) 労働安全衛生講習会の開催

- ◆講師:中央労働災害防止協会 技術支援部 専門役 安全管理士 藤井尚則氏
講習テーマ:「労働災害事例における原因分析と対策」

例年、全国5カ所の会場に会員各位に参集頂き、開催してきたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、対面形式による講習会の開催を取止め、ホームページ(会員ページ)上での動画配信にて開催した。

(2) 会員への労働安全衛生活動支援

①労働安全衛生対策関連の情報の提供

中災防機関誌より特集記事をHP会員ページへ掲載等(毎月)

②危険体験学習会の開催

危険体験学習会(2020年10月23日 参加者19名)

於:新日鐵住金(株) 鹿島製鉄所

③労働安全ポスターを作成・配布。標語として「危ないよ、言える勇気と聴く心」を選定。(2020年12月)

④過積載防止ポスターの作成、配布し、会員各社への啓発と注意喚起を実施。

(2020年12月)

(3) 業界独自の労働災害・事故事例の収集調査を実施 (2020年10月)

(4) 災害団体保険の更新内容の検討、加入者募集 (2021年3月)

7. 環境委員会

<委員会開催>(2回)

◆2020年度第1回環境委員会(2020年8月3日)【Web開催】

- (1) 新委員ご紹介
- (2) 今年度の調査事業について
- (3) 委員各社の現況について

◆2020年度第2回環境委員会(2021年2月24日)【Web開催】

- (1)委員会事業 現在までの進捗状況
- (2)2021年度事業計画・予算案について
- (3)委員各社の現況について

<委員会活動・事業>

「金属リサイクル工程において発生するCO₂等のエネルギー負荷の調査研究」に係る調査協力機関の選定調査、調査研究計画の立案等の準備検討を実施。

8. 国際ネットワーク委員会

<委員会開催> (3回)

◆2020年度第1回国際ネットワーク委員会(2020年9月4日)【Web開催】

- (1)「東アジア4カ国鉄スクラップ需給の現状と展望」林誠一氏
- (2)韓国ミッション報告(2020年2月11日～13日)
- (3)新規委員の追加について
- (4)第9回「国際鉄リサイクルフォーラム」開催是非等について
- (5)今後の委員会開催

◆2020年度第2回国際ネットワーク委員会(2020年12月17日)【Web開催】

- (1)新規委員の追加について
- (2)第9回「国際鉄リサイクルフォーラム」について
 - 開催の方法
 - テーマ及びゲスト
 - 今後の準備スケジュール
- (3)次回委員会日程及び議題

◆2020年度第3回国際ネットワーク委員会(2021年3月12日)【Web開催】

- (1)第9回「国際鉄リサイクルフォーラム」について
 - 開催時期
 - 開催方法
 - プログラムの決定(テーマ及びゲスト)
- (2)次回委員会日程及び議題

<委員会活動・事業>

(1)2020年の「国際鉄リサイクルフォーラム」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった。2021年にはOnline形式にて開催を予定し、韓国鉄鋼協会 KOSA、中国廢鋼鉄応用協会 CAMU、等との交流をすすめていく所存。

(2)2020年度の海外関係機関主催の国際会議は、新型コロナウイルス感染症拡大により殆どが中止となった。2021年度以降は開催の状況をみつつ参加する予定。

(3)韓国鉄鋼資源協会 KOSIA とは 2018 年 9 月締結の覚書に基づき、日韓鉄スクラップ業界の情報交換及び相互交流をはかることになっており、2020 年は上記と同じ理由で機会が失われたが、今後はコロナの状況を見極めつつすすめる予定。

9. 広報委員会

<委員会開催> (1 回)

◆2020 年度第 1 回広報委員会(2021 年 2 月 18 日)【Web 開催】

- (1)新委員ご紹介
- (2)2021 年度事業計画・予算案について
- (3)鉄リサイクルニュース巻末イラストについて
- (4)その他

<委員会活動・事業>

- (1)オンラインセミナー「Teams 活用セミナー」の紹介
- (2)動画「2021 年 会長 年頭挨拶」の製作、配信
- (3)当工業会、官公庁からの周知依頼事項等各種情報の発信、HP掲載
- (4)2021 年工業会カレンダーの作成・配布

10. 自動車リサイクル法委員会

<委員会開催> (3 回)

◆2020 年度第 1 回自動車リサイクル法委員会(2020 年 9 月 30 日)【Web 開催】

- (1)産構審・中環審自り法合同委員会の報告(9/25 第 49 回、9/30 第 50 回)
- (2)雑品スクラップ集荷業者の状況、シュレッダー母材流通量減少(輸出)の状況、等

◆2020 年度第 2 回自動車リサイクル法委員会(2021 年 2 月 3 日)【Web 開催】

- (1)産構審・中環審合同委員会による自り法見直し -マテリアルリサイクル- について
- (2)解体インセンティブ制度検討ワーキンググループ 及び 使用済み自動車由来ガラスの再生利用促進に向けた勉強会(ガラス再生勉強会)について

◆2020 年度第 3 回自動車リサイクル法委員会(2021 年 3 月 30 日)【Web 開催】

解体インセンティブ制度の関する説明、討議

<委員会活動・事業>

- (1)自り法全般に関する運用状況把握及び関係省庁、関係機関との協議。
特に、マテリアルリサイクル促進及び ASR 削減に向けた解体インセンティブ制度に関する関係省庁・関係機関との協議。
- (2)「産業構造審議会・中央環境審議会 - 自動車リサイクルに関する合同会議」に出席し、破砕業としての意見を発信。
- (3)ASR の差配状況、再資源化施設の受入れ状況の調査及び実情把握。
- (4)シュレッダー母材の輸出を含めた流通状況の調査及び実情把握。

(5)エアバッグ作動事故防止及び廃発炎筒回収に関する会員への周知。

11. 港湾委員会

<委員会開催>

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大もあり、委員会は開催されず。

<委員会活動・事業>

- (1)石狩湾新港・東地区 12m 岸壁等大型プロジェクトの新規採択（リサイクルポート）：
総事業費 92 億円を見込み、2021 年秋に竣工し 2026 年春に開港予定。
2015 年に工業会から国交省に要望書を提出以来、本件に関わる活動を継続。2018 年には「リサイクルポート推進協議会」内設立の「国際資源循環部会」会長に工業会・田中副会長が就任し、輸出先遠方化による大型船化対応に向けた港湾整備を強く働きかけてきた。斯様な活動が結実し今回の成果に至る。今後は全国ネットワークも活かした複数港積みの実現も目指し、日本の鉄スクラップ輸出の向け先遠方化と輸出全体の拡大を進めていく所存。
- (2)国内及び輸出向け鉄スクラップの品質向上に関する業界への周知徹底。特にダスト混入の改善を目指し、一部港湾ではダスト・シェイカー等に対応。
- (3)改正廃掃法・バーゼル法による雑品スクラップ規制強化に関し、必要に応じた関係省庁・機関との協議及び会員への周知。

III 庶務事項

1. 会 員(2021年3月31日現在)

正会員	712 社(専業 696、商社 15、海外1)
正会員登録事業所	162 事業所(専業 125、商社 37)
賛助会員	63 事業所

2. 役 員 等

会 長	1 名
副 会 長	2 名
専務理事	1 名
理 事	4 名(会長、副会長、専務理事を除く)
監 事	2 名
顧 問	3 名
支 部 長	7 名
委 員 長	9 名(特別委員会を除く)
運営委員	18 名(含む委員長、以下同様)
財務委員	8 名
商社流通委員	12 名
業務対策委員	15 名

環境委員	11名
国際ネットワーク委員	10名
広報委員	12名
自動車リサイクル法委員	8名
港湾委員	7名
会費検討特別委員	16名(特別委員会)

3. 会 議

(1) 第 32 回全国大会(東北支部主管)【開催中止】

2020年6月6日(土)～7日(日)に予定されていた青森市(ホテル青森)での全国大会については、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せない状況に鑑み、開催を取止めた。なお、東北支部主管の全国大会については2021年の九州支部主管による熊本での大会の後、2022年に開催されることとなった。

(2) 2021年新年賀詞交歓会【開催中止】

2021年1月8日(水)に予定した新年賀詞交歓会については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて開催を取りやめた。

なお、全ての支部においても新型コロナウイルスの状況を踏まえ、新年賀詞交歓会の開催は中止された。

4. 関係機関への委員派遣

(1) 一般社団法人日本鉄源協会

①副会長、理事、監事、需給流通委員会・運営委員会等委員派遣 (会長他)

(2) 経済産業省、環境省関係

①経済産業省「産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルWG」委員 (専務理事)

②環境省「中央環境審議会循環型社会部会自動車リサイクル専門委員会」委員 (専務理事)

(3)「リサイクルポート推進協議会」運営委員 (専務理事)

(4)リサイクルポート推進協議会「国際資源循環部会」部会長 (副会長)

(5)公益財団法人自動車リサイクル促進センター 評議員、総務委員 (専務理事他)

(6)公益財団法人古紙再生促進センター 理事 (専務理事)

(7)一般社団法人日本自動車会議所、経済・産業委員会 委員 (専務理事)

(8)鉄リサイクル企業年金基金 理事 (常務参与)

5. 講演会、研修会

- (1) 業務対策委員会の下、労働安全衛生講習会を各支部の協力により開催してきたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、対面形式による講習会の開催を取止め、ホームページ(会員ページ)上での動画配信にて開催した。

6. 関連団体の活動

(1) 一般社団法人日本鉄源協会

鉄スクラップ関連情報として、年1回「鉄源年報」、3カ月に1回「クォーターてつげん」、月1回「てつげん短信」をそれぞれ発行。

(2) リサイクルポート推進協議会、国際資源循環部会(国交省主管)

活動を通じて静脈物流における港湾(リサイクルポート)の果たすべき機能、特に大型船による鉄スクラップ輸出に向けた港湾インフラ整備に関し調査・検討・提言等を実施(港湾委員会)。その結果、国交省より石狩湾新港・整備事業(総事業費92億円)の新規採択を受ける。

(3) 鉄リサイクル企業年金基金

2021年3月31日現在で実施事業所数205社、加入者数6,818名、受給者数3,599名、運用資産(時価)約90億円となっており、関連諸事業を推進。

7. 事務局

鉄スクラップ業の業況等関連情報の収集・提供、会議の企画、各種資料の作成・報告等を行うとともに、関係省庁からの情報の周知、要請への対応・意見具申並びに関係業界との連携等を推進。また、理事会、運営委員会の決議に基づき、当工業会の運用基盤の整備に係る業務等を遂行。

- (1) 一般社団法人に義務づけられている内閣府への公益目的支出計画の実施報告。
- (2) 施行後15年を迎えた自動車リサイクル法の見直しに、時代の要請に合った効率的なリサイクル(「マテリアルリサイクル促進」及び「ASR削減」)が実施されるよう関係省庁、関係機関との連携、調整等。
- (3) 我が国鉄スクラップの西南アジア等への遠距離輸出の増加が想定される中で、積出港の大型船対応について継続的に関係省庁への説明、調整等。国交省主管の「リサイクルポート推進協議会」、「国際資源循環部会」に参加。
- (4) 廃掃法とバーゼル法に関し関係省庁と緊密に連絡をとり、必要な情報収集を行い、工業会会員への情報提供等。
- (5) 日本鉄源協会への出資金として貸借対照表の固定資産、固定負債に計上されてきた5,800万円について、本年度末での整理が決定し、6月の通常総会にて以下の一連の手続きを説明の上、最終決議。
 - ・出資会社の会員402社、非会員1,054社宛てに説明文書「(一社)日本鉄源協会への出資に際し受領した金銭の取扱いについて」に確認書を付して郵送。
 - ・会員の約97%から確認書が提出されたが、不同意とした会社は会員会社で10社

(内商社7社、専業社2社、連絡不可1社)、非会員で2社。

- ・不同意会社から出された疑問点について日本鉄源協会にさらに説明を求め書面にて問合せ、同協会から文書にて回答が行われたのを受けて不同意会社宛てに改めて3月末で会計処理する旨の説明文書を出状。

(6) 関係省庁からの発表、要請事項等の会員への周知、案内。

- ①新型コロナウイルス感染症の大規模感染防止に向けた職場における対応
- ②新型コロナウイルス感染緊急事態宣言を受けた在宅勤務等の推進について
- ③持続化給付金申請のお知らせ
- ④新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた雇用調整給付金の活用について
- ⑤重量違反(過積載)防止について
- ⑥冬季における節電の協力要請及び省エネルギー対策について
- ⑦2021年度エネルギー消費の効率化に資するわが国技術の国際実証事業

(7) 工業会会計の合理化、効率化を図り、会計処理手順や帳簿体系の統一化を図るため支部会計に会計ソフトを導入。また、会計の透明化、適正化を図るため公認会計士による外部監査の実施を目指し、予決算管理及び日常の会計基盤の整備を推進。

(8) 内外マスコミ及び関係諸機関からの取材、問合せへの対応。

(9) 毎月FAX通信を作成・配信。(本部事務局の活動状況及び業況概要)

8. 2020年度新入会員

●専業会員

< 関東支部 >

株式会社カネテツ 代表取締役 阿部 正二

< 中部支部 >

有限会社塩久商店 代表取締役 塩崎 崇

< 関西支部 >

株式会社ヤマキンメタル 代表取締役社長 植田 敏明

株式会社古勝 代表取締役 寺村 公博

< 中国四国支部 >

株式会社田島 代表取締役社長 坂下 令二

< 九州支部 >

株式会社エイワ産業 代表取締役 木下 泰源

●賛助会員

住友建機販売株式会社北海道東北統括部札幌支店 支店長 齊藤 廣行

株式会社ナニワプロジェクト 代表取締役 河井 雄輔

ゲルブ・ジャパン株式会社 代表取締役 榎本 祐司